

任意予防接種の助成

ID 118484091

ID 359299849

小児と高齢者の時期にかかりやすい疾病の予防のため、おたふくかぜワクチンと帯状疱疹ワクチンの接種にかかる費用を一部助成しています。

◆おたふくかぜワクチン

対象 ▶ 1歳児

※おたふくかぜにかかったことがある小児は除く

助成額 ▶ 1人1回2,500円

◆帯状疱疹ワクチン

対象 ▶ 50歳以上の方

助成額 ▶ ①または②のどちらかを選択してください。

①シングリックス(不活化ワクチン)

1回1万円(2回まで)

②ビケン(生ワクチン)

1回3,500円(1回まで)

方法 ▶ 市内の協力医療機関で接種する場合は、助成額を差し引いた額を医療機関窓口でお支払いください。市外の医療機関で接種した場合は助成額を支払いますので健康課にお問い合わせください。

▶ 骨髄提供者等助成事業

(公財)日本骨髄バンクが行う骨髄等提供のための通院や入院に際し提供者の方とその勤務先に助成金を交付します。

対象 ▶ 骨髄提供日に市内在住の方とその事業所(他自治体が実施する同類の制度による助成を受けている場合は除く)

助成額 ▶ 1日につき提供者2万円
事業所1万円

※どちらも最大7日間

申込期限 ▶ 提供日から1年以内

注意事項 ▶ 親族間の骨髄などの提供は該当しません。

骨髄などの再手術または関連した医療処置によって生じた健康障害にかかる通院などは除きます。

▶ 11月14日は世界糖尿病デー

国際糖尿病連合(IDF)と世界保健機構(WHO)が糖尿病の脅威の拡大を受けて、11月14日を世界糖尿病デーとし糖尿病の普及啓発の推進をしています。

糖尿病

現在、日本では国民の6分の1が患者または予備軍とされています。糖尿病の原因には遺伝や生活習慣が影響しています。初期では自覚症状がないため、気づいたときには進行しており合併症から死に至ることもあります。

糖尿病の発症・重症化予防

健診受診や食事、運動といった生活習慣が重要となります。中でも食事のポイントについて紹介します。

「糖尿病予防の食事で絶対に食べてはいけないものはありません。」主食・主菜・副菜のそろったバランスの良い食事を3食規則正しく食べましょう。主食は毎食同じ量にすることで、血糖値が安定しやすくなります。食物繊維の多い野菜、きのこ、海藻、こんにゃくなどを毎食とることで、血糖値の上昇を抑えることができます。よくかんで食べましょう。

離乳食ひろば(要申込)

▶ 問合せ こども家庭センター
(Tel23-7621)

離乳食・歯の話、試食、身体計測(希望者)を行います。

日時 ▶ 11月7日(木)

10:00~11:00

場所 ▶ 新城保健センター

対象 ▶ 令和5年12月~令和6年5月生まれの乳児とその保護者

定員 ▶ 15組(先着順)

持ち物 ▶ 母子健康手帳、よだれかけ(試食に必要な物)、筆記用具

申込 ▶ 電話または
申込フォーム



▲申込フォーム

HEALTH

お知らせ保健

問合せ 健康課 (Tel23-8551)

▶ 集団がん検診(要予約)

ID 325839297

場所 ▶ 新城保健センター

日時 ▶ 11月19日(火)午前中

内容、費用

胃がん	500円
大腸がん	300円
前立腺がん(50歳以上)	500円
子宮がん	500円
乳がん	500円
	(40歳代600円)

結核・肺がん 無料

申込

電話または申込
フォーム(先着順)



▲申込フォーム

注意点

◆同日に複数の項目を受けることができます。

◆詳しい時間は、申込受付時にご案内します。

◆同じ検診を複数会場へ申し込むことはご遠慮下さい。各検診(医療機関での受診を含む)は、一人年一回です。

臨床心理士による相談

▶ 問合せ こども家庭センター
(Tel23-7621)

ID 771347874

お子さんの発達相談などを行います。発達や言葉について相談したいことがある方にお勧めです。

日時 ▶ 11月20日(水)

①9:10~②10:10~
(1組50分程度)

場所 ▶ 新城保健センター

対象者 ▶ 幼児とその保護者

持ち物 ▶ 母子健康手帳

申込 ▶ 2組(先着順)